



そうじゃ子ども会議の委員を代表し、市長に提言書を手渡す3人の委員。右から、岡夏未さん(3年)、小川大貴さん(3年)、坂川俊樹さん(3年)



そうじゃ子ども会議。班別に意見・提言が発表された

そうじゃ子ども会議が市へ提言

# 17人の思いが まちを動かす

11月23日に開催したそうじゃ子ども会議での内容を踏まえ、交通と観光、環境・美化の3分野にわたる提言書を12月2日、同会議の委員である中学生3人が市長室で市長に手渡しました。市では、この提言をできるところから実行に変えていきます。

■**そうじゃ子ども会議**  
子ども条例の第20条で、「市は、子どもの視点や意見をまちづくりに反映させるための意見表明の場として「そうじゃ子ども会議」を設置することができます」と規定しています。

から実行に変えていきます」と。総社のまちのあるべき姿を子どもたちも考えることは、まちづくりに大きなプラスになります。

提言書の提出のため市長室を訪ねたのは各分野の担当班の代表で、坂川俊樹さん(3年)、岡夏未さん(3年)、小川大貴さん(3年)の3人。4か月間の調査・研究を経ての提言に3人は、「多くのことを知ることができ、よい経験ができました。提言を提出できたことで充実感でいっぱいです。実現されることを願っています」と、話しました。

そ  
う  
じ  
ゃ  
こ  
も  
こ  
ん  
ご  
う  
ぎ  
い  
は、子ども条例第20

条の規定に基づいて、初めて実施しました。子どもたちの意見表明の場でもあり、その視点や意見を市政に反映させようと平成23年8月、総社東中学校の2、3年生17人を同会議の委員に委嘱。17人は3班に分かれ、約4か月をかけ、足でかせいだ調査データや資料、同会議での議論などを基に提言をまとめました。

提言は、「自転車が安全に通行できる道路整備と、雪舟くんの運行時間の拡大や利用特典の検討」、「備中国分寺写真コンテストや吉備路れんげまつりの充実、お土産用菓子の開発などによる観光振興」、「使用済み割り箸のリサイクルや花植え活動の推進と、まちをき

## 4か月にわたり、調査・研究した成果 交通、観光、環境・美化の3分野で提言

れいにする条例の制定」の3点です。  
提言の最後を、「私たちは、これらについて、自分

たちができていることを考え、進んで実践していくことを約束します」と結び、提言の実現に熱い気持ちと期待

を寄せ、17人が署名しています。市長は、「皆さんの純粋な感覚を受け止め、いただいた提言はできるもの